

滝の白糸（1956）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1956/07/12

【解説】

泉鏡花の同名原作を島耕二が脚色・監督した。1915年版から数えて六回目の映画化となるが、本作は初めてカラーで製作された。

水芸人「滝の白糸」一座は、寅五郎一座からの合流の申し出を断り、金沢で公演を行い成功を収める。夜、散歩に出かけた白糸は、川岸で馭者の村越欣弥と出会った。法律を学んでいるという欣弥の話を聞き、白糸はその費用を出すことにする。欣弥が東京に出ても白糸は送金を続けた。だが滝の白糸一座も時代の波には勝てず、富豪の上林からの援助を受けるようになる。金沢での凱旋公演が成功した日、上林にもらった金を欣弥に送ろうとした白糸は、寅五郎に金を奪われてしまった。金を工面してもらおうと上林を訪れる白糸だったが、体を求める上林に抵抗し誤って殺害してしまう。

【クレジット】

監督 島耕二

製作 永田雅一

企画 塚口一雄

原作 泉鏡花

脚本 島耕二

撮影 長井信一

美術 仲美喜雄

音楽 大森盛太郎

出演 若尾文子

菅原謙二

刈田とよみ

近藤美恵子

若原一郎